



4年ぶりの開催に賑わう

9月15日(金)、鹿児島相互信用金庫大崎支店の駐車場において、大崎ブレン21主催による「秋祭り」が4年ぶりに開催されました。

大崎ブレン21は、同支店を中心とした町内の若手経営者の会です。秋祭りは、大崎ブレン21のメンバーが飲食物の販売や子ども向けゲームを出店し、特設ステージでは、フラダンスや歌、大崎幼稚園によるダンスなどが披露され、大盛り上がり祭りの祭りとなりました。また、うなぎとのふれあいコーナーが設けられ、子どもたちは「ぬるぬるして、つかめない」と夢中の様子でした。

実行委員長の吉留竜太さんは「祭りの目的は『子どもたちの笑顔のために』なので、4年ぶりの開催にお子様含め多くの方にご来場いただき喜んでいただき、嬉しいです」と話されました。



大崎中学校へ生理用品の寄贈

9月26日(火)、通所介護事業所「かきの木」の代表有村洋幸さんが、大崎中学校に生理用品(28個入り32パック)を寄贈しました。

これは、同施設が10年目を迎え、お世話になっている地域への感謝を込めて寄贈されたものです。有村さんは「地元企業として地域に貢献したいと思い、寄贈しました。今後も、必要なものを聞きながら、できることから貢献していきたいです」と話されました。

吉留雅樹校長は「地元の企業から寄贈いただき、ありがとうございます。これからも子どもたちを応援していただけたら」と話されました。



皆で元気に過ごしたい 老人クラブが映画鑑賞会

9月4日(月)、町中央公民館において、大崎町老人クラブ連合会主催による「健康促進&映画鑑賞会」が開催されました。これは、閉じこもりを防止し、心身の活性化と社会参加の促進を図ろうと同連合会が初めて企画したもので、老人クラブ会員以外の参加も呼びかけ、約200名が参加しました。鑑賞会では、健康に関する映像や懐かしい映画などを鑑賞し、参加者は楽しんでいる様子でした。同連合会会長の清山重則さんは「皆さんに100年時代を元気に過ごしてほしいと思い、企画しました。これからも、映画鑑賞会や軽スポーツなどを取り入れ、会員に楽しく過ごしてほしいです」と話されました。